

活動報告書

【スポーツ団体選手強化活動助成】

助成決定者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会				
活動名	フラッグフットボール世界選手権チーム派遣				
活動の成果	<p>2028年ロサンゼルスオリンピックでフラッグフットボールが追加競技として組み入れられる可能性がある中、国内でもフラッグフットボール競技の普及及び育成に力を入れてきた。当該世界大会は、ワールドゲームズ2022の出場権を得るために、各国から例年になく参加国が集まった。女子代表は18カ国中6位となり、上位8位までが出場できるワールドゲームズ2022への出場権を得た。一方、21カ国が参加した男子チームに関しては残念ながら11位となり出場権を得ることはできなかったが、2028年のロス五輪に向けて再出発したい。</p>				
活動に対する評価	<p>フラッグフットボール自体がアメリカンフットボールよりマイナーであり、潤沢な資金もないことから、東西の練習拠点に自費で参加する等の努力を継続してきた。また、代表が決まり出発間際になり、新型コロナウイルス感染症が国内外を問わず蔓延し、チーム練習のみならず出入国についても苦慮した。また当初帰国後自主隔離であったものが、オミクロン株の影響で14日間の強制隔離へと移行となったため、女子選手3名、男子コーチ2名が帰国後の職場復帰や授業参加等の問題で辞退することになり、女子は12名で戦うことになったが、そのような環境下でも実力を発揮し6位入賞を果たしたことは、十分評価に値する。</p>				
実施した活動の内容	実施期間	令和 3 年 12 月 3 日 ~ 令和 3 年 12 月 10 日			
		(延べ 8 日間)			
	実施内容	国内合宿	海外合宿	チーム派遣	チーム招待
		件	件	1 件	件
		※1件ごとの内訳は、別添内訳のとおり			
活動計画及び実績		年度当初計画	実績		
	選手強化活動参加延べ人数	36 人	27 人		
	世界選手権又はそれに準ずる国際大会の日本人入賞者数に占める当該活動参加者の割合	33 %	44 %		
備考					